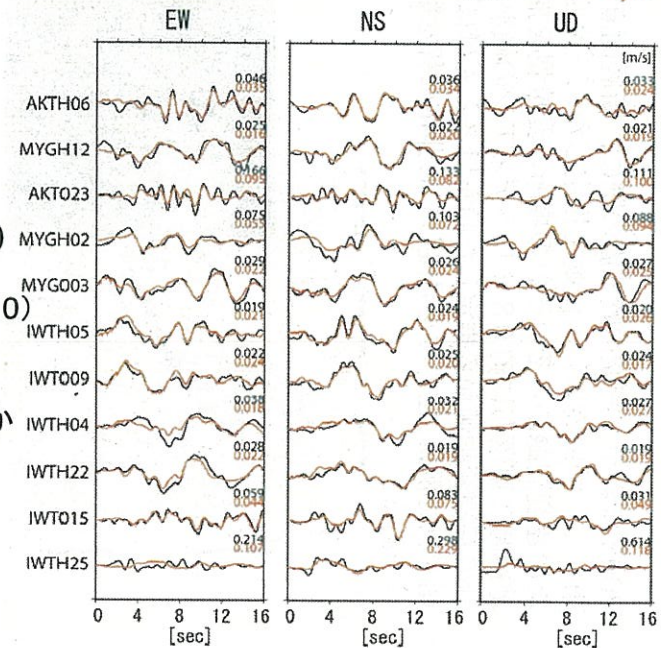
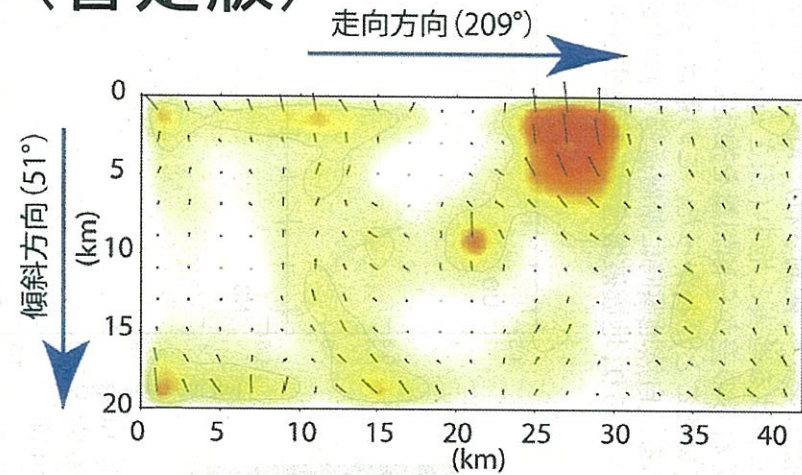
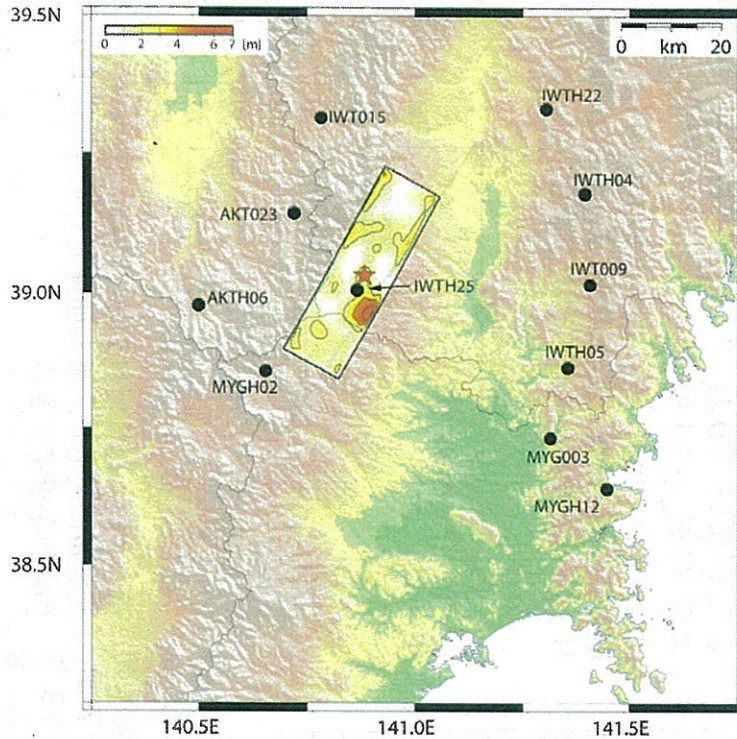


震源過程:インバージョン(暫定版)



- ・破壊開始点: Hi-netの再検測による震源位置(39.03158N, 140.88362E, 深さ8.13km)
- ・断層モデル: F-netのモーメントテンソル解(走向209°、傾斜51°、滑り角104°)
- ・空間方向: 余震分布の広がり参考に長さ42km、幅20km: 2x2km小断層210個(21x10)
- ・時間方向: 時間幅1.0秒のスムーズランプ関数を0.5秒間隔で6つ並べる
- ・グリーン関数: 1次元成層構造モデルを仮定して、DWNMにより理論的にもとめる。
- ・データ: K-NET・KiK-net(地中)11観測点。0.1から1.0Hzのバンドパスフィルターをかけ、積分した速度波形S波到達時刻の1秒前から15秒後までのS波部分16秒間

すべりの大きな領域: 破壊開始点付近及びその南側

主に破壊開始点の南側の浅い方に進展した

M₀は 4.11×10^{19} Nm (M_w = 7.0)、最大すべり6.7 m